

くらしの相談などいつでもお気軽に日本共産党の各市議まで

# 日本共産党 小平市議団ニュース

No.145 2016年1・2月



きせ恵美子  
☎478-1133



木村まゆみ  
☎344-4928



佐藤みつる  
☎343-0831



ほそや 正  
☎345-0818



1月10日の「新春歩け歩けのつどい」にて  
(左より佐藤、きせ、木村、ほそやの各市議)

## 2016年 憲法が輝く 平和・民主主義の日本へ

戦争法（安保法制）反対の声が国中にとどろく中で二〇一六年を迎えました。市民が自発的に声を上げ、行動も大きく広がりました。とくに、青年・学生、若いママさんたちが戦争法反対に立ち上がり、年を越した今もあきらめない行動は、民主主義への大きな光だと確信します。

ともに力を合わせ、戦争法を廃止し、立憲主義をとりもどしましょう。日本共産党は、この一点で一致するすべての国民と共同し、「戦争法廃止の国民連

合政府」をつくるためにがんばります。今年夏は、参議員選挙です。暴走政治と正面から対決する日本共産党と戦争法廃止の共同の前進で、憲法と国民の声をふみにじる安倍政権に審判を突きつけましょう。

日本共産党小平市議団は、戦争法廃止をめざすとともに、消費税10%増税中止、正規雇用の確保、社会保障を守り充実させ、安倍政権の悪政から市民を守る市政へ発展させるために、奮闘する決意です。

今年も、どうぞよろしくお願い致します。

二〇一六年 新春

日本共産党小平市議団

- きせ 恵美子
- 木村 まゆみ
- 佐藤 みつる
- ほそや 正



1月11日の成人の日に、日本共産党、民主党、生活者ネット、社民党、緑の党、無所属の小平市議11名が、小平駅南口で共同宣伝を行いました。振り袖姿の新成人、市民から激励もあり、戦争法廃止の署名する人も多数いました。

小平市議超党派で、戦争法（安保法制）の廃止を訴え

### 北朝鮮の核実験に抗議します

小平市議会は、1月6日に核実験を実施したと発表した朝鮮民主主義人民共和国に対し強く抗議するとともに、今後、日本政府において、国際社会

が一致した対応をとるために主導的な役割を果たすよう強く求める声明を出しました。また、市長も同様の抗議文を金 正恩氏あてに送付しました。

# 個人情報大丈夫!?

# 市民はメリットあり!?

## 市の関連条例に党市議団は反対

12月議会は、「印鑑条例の一部を改正する条例」、「個人番号カードの利用に関する条例」と「個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例」の制定について賛成多数で可決しました。党市議団はすべてに反対をしました。

危険が高まること。③取り扱う事務が当面8件だが、条例改正で増えれば増えるほど、さらに危険性が高まる。また、市民への徴税強化やその一方で社会保障の給付削減の手段とされかねないこと——などの理由で反対をしました。

これらの条例にもとづき、国のマイナンバー制度が、小平でも動き出すこととなります。

マイナンバー制度は、プライバシーの侵害と個人情報情報の漏えい、犯罪の危険性に対して十分な措置がされないままです。

党市議団は、①住民票、印鑑証明書、戸籍証明書の交付は、「市民カード」で自動機により永久に利用できること（住基カードは発行後10年間の期限）。②プライバシーの侵害と情報の漏えいの危

## 一般会計補正予算(第2号)で認可、認証保育園への支援など拡充

補正予算は歳入歳出を3億5,799万円増額し、歳入歳出合計は627億9,456万円。全会一致で可決しました。歳入はすべて国と都の支出金で、市の基金からの繰り入れを6千万円減額したものです。

### 〈主な事業の内容〉

- 認証保育所——運営費補助や新規事業の保育士等キャリアアップ補助など 約7,800万円
- 民間保育園への保育実施委託、補助など 約2億6,400万円
- 幼稚園への補助 約1,000万円
- 母子生活支援施設への入所費 300万円

## 市民生活を守り支える2016年度予算を

### 日本共産党市議団が市長へ要望書提出

党市議団は12月18日、小林市長に2016年度小平市予算への要望を申し入れました。市民のみなさんから寄せられた要望・意見を重点要望10項、分野別要望72項160件にまとめたものです。

安倍政権の暮らし・社会保障、平和の破壊から、小平市が市民を守る防波堤の役割を果たし、地方自治を前進させるための要望です。市長は「検討して実現できるよう努力したい」と答えました。

### 重点要望の主な内容

1. 利用料・手数料など公共料金の引き上げは行なわない
2. 生活保護制度を利用しやすく。子どもの貧困対策拡充
3. 健康保険税の大幅値上げ案は再度見直す
4. 特別養護老人ホームを増設、年金で入れる高齢者の施設の充実
5. 市役所の障害福祉課のスペースの確保、人的拡充を図り、相談機能を強化する
6. 公立保育園、認可保育園の増設を行い、待機児を解消する
7. コミュニティバス拡充、コミュニティタクシーの全市的な推進
8. 地域経済振興へ住宅リフォーム助成制度、公契約条例の制定を検討する
9. 35人学級実現に向けた検討委員会の設置。花小金井武道館の廃止計画の見直し
10. 非核・平和事業を継続し積極的な取り組みを

要望の全文は、ホームページをご覧ください、党議員にお問い合わせください



# 通学路・道路の安全対策

# 市が改善を約束

## 花小金井小学校通学路の跨線橋

避難経路にもなっている花小金井小学校通学路。その中で西武新宿線の跨線橋は、かなり老朽化しています。

きせ恵美子市議が跨線橋の実態把握と改善を求めたことに対し、市は点検を行なったところ、対策が必要な箇所がわかり、本年度より改修設計、平成29年度以降に改修工事を行うことを明らかにしました。



## 大沼町・泉蔵院西側市道

ブロック塀が斜めに傾いているうえに、さらに狭い箇所がある泉蔵院西側市道。市民、子どもたちの通行・通学の安全が心配です。

佐藤みつる市議が早急な対策を求めたことに、市はこの道路の幅員が狭い箇所が、市有地との境界線が未画定となっており、これを機に、市民の協力を得て画定し安全策に努力する——と答弁しました。



## エーっ！国民健康保険税がまた上がるの？！

これが国保加入市民のみなさんの受け止めではないでしょうか。昨年の12月24日に、小平市国民健康保険運営協議会から、2016年(H28)度の国保税の税率改定について答申が出されました。7.2%の値上げです。

党市議団は、市民のみなさん、社会保障推進協議会などの市民団体や医療・介護関係者から意見をいただいているところですが、その多くが「今でも払うのが大変、これ以上の値上げはしないでほしい」というご意見です。

### 「税率を抑えよ」を申入れ

1月7日、党市議団は、市民のみなさんの意見を要望書にまとめ、①二方式化に伴う税率等の改定の

最終年度となる2016年(平成28年)度は、当初の税率に抑えること。

②一般会計繰入金は、現状より減額しないこと。の2点を市長に申し入れを行いました。



## 小平市立花小金井武道館について緊急申し入れ

昨年11月に「小平市立花小金井南中学校 地域開放型体育館建設および小平市立花小金井武道館機能移転の基本方針(素案)」が示されました。概略内容は、①花小金井南中の体育館を建て替えて1中や6小のような地域のみなさんも使える体育館にすること。②花小金井武道館を取り壊し、跡地は公園にすること。③柔道場、剣道場は花南中に移転、弓道場は廃止

——というものです。

花小金井武道館は、日本古来の伝統文化の振興という大切な使命を持つ貴重な体育施設です。しかも、現在耐震診断中。このような時期に、取り壊しを決めることは、あまりに拙速と言わざるを得ません。党市議団では、以下の骨子で市長に対して緊急に申し入れをしました。

- ①素案から花小金井武道館の機能移転の部分を削除する。
- ②耐震診断の結果が出るまでは保留とする。
- ③事務所、および2階部分は花南中が完成するまでの間使えるように耐震補強工事を行い、弓道場については、5年経過以降も使えるような手立てをとる。
- ④弓道場の管理は今後、利用団体による自主管理も視野に入れて、市民参加で決める。

# 公共施設の再配置は徹底した市民参加で、ていねいに

当初更地にして売却する方針だった旧仲町公民館。党市議団は、小平町役場跡であり、歴史のある土地なので、売却せずに活用することを求めておりました。アスベスト含有の建材が使われており、取り壊しに時間も経費も掛かりますが、更地にして民間に貸し出し、0・1・2歳児の小規模の認可保育園を開設する予定です。

## 旧仲町公民館は取り壊して小規模保育園に

「何と、もったいない使い方！」との声が寄せられています。約2700㎡という広大な敷地は市民の大きな財産です。市内には特養の待機者、保育園の待機児童があふれています。又、発達に心配のある子どもたちや子育ての応援が必要な世帯が増えています。党市議団は、かねてより、鈴木保育園の跡園舎を0・1・2歳児の保育園として緊急避難的にでも利用し、発達支援センター、子ども家庭支援センターなどを併設する子どもセンターとして再出発すること、広い園庭の跡地の一角に小規模特養を建設することを提案しています。

3月で廃園になる鈴木保育園の園舎は防災倉庫に、広い園庭は公園に(小平市の計画)

# 12月議会 一般質問より

## 佐藤みづる市議



1、万年堀の安全対策、泉蔵院西側市道等の対策について  
平成24年度調査で、市内の万年堀は490カ所、うち、ひび割れや傾き等が107カ所あり、改善の助成制度を活用するよう勧めている。大沼町5丁目住宅の交差点にカーブミラーを設置し、安全策を図る等の答弁がありました。(泉蔵院西側市道の「危険」な堀については3面を参照)

2、地域センターを利用しやすいように柔軟な対応を

遊戯室の卓球台の利用は、子どもたちが優先だが、空いているときは大人も利用できるよう、柔軟に対応することを徹底したいとの答弁がありました。

3、ブリヂストンの再構築は市にどのような影響があるのか

小平市のブリヂストン工場は、①研究開発施設を2017年着工、18年開設で拡充する ②航空機用以外のタイヤ生産は他工場に移す——という「再構築」計画を昨年10月に発表しました。これによる雇用と関連企業、周辺商店街や学校、街並みや環境、市の税金などへの影響について質問し、企業の繁栄が市民犠牲とせず、工場周辺と市の繁栄につなげることを求めました。市は受けている説明では影響を判断できないとし、今後は密接に連絡、情報収集を行うと答弁しました。

## あづま 昌市議



1、小川駅西口地区再開発の現状と、市民向けに説明することについて

小川駅西口地区市街地再開発準備組合における事業協力者が2社から1社のみ体制になったことを市民は知りませんでした。なぜ体制の変更があったのか質しました。

また、現時点の事業の進捗を市民に知らせ説明する必要があると指摘をし、市は1月から周辺地域へのお知らせのプリントを配布することになりました。

2、命の綱である国民健康保険について

国民皆保険としての市の認識について質しました。(質問)本年度は低所得者に関する保険者支援制度の拡充が予算化されたが、使途はどうしたか。(答弁)拡充分は繰入金に充てた。↓本来の使途である低所得者・多子世帯等への保険税減額に充てるべきです。(ほそや)

3、使用料、手数料などの公共料金の引き上げは行わないことについて

庁内検討を進めているとのこと、現在の市の検討状況がどうなっているのか方向性を問い、引き上げはしないこと、公共施設の利用料は現在の減免基準を継続することを求めました。

## かせ 恵美子市議



1、視覚障がい者の方々の読み書き支援員派遣事業の創設について

(質問)視覚障がい者の方々の読み書き支援の要望への受け止めは。(答弁)郵便物などの代読や手紙などの代筆の支援が必要と受けとめている。

(質問)視覚障がい者の方々の読み書き支援の施策の現状は。(答弁)ひとり暮らしの視覚障がい者を対象に、ホームヘルプサービスの家事援助として読み書き支援を行なっている。同行援護を利用する視覚障がい者には、移動に必要な情報提供、外出先での各種手続きの読み書き支援を行なっている。

(質問)ホームヘルプサービスではなく、コミュニケーション支援事業(意思疎通支援事業)で読み書き支援を。(答弁)必要と認識する。研究したい。

2、避難所である花小金井小学校へ向かう経路の安全確保について

(質問)花小金井南地域の一時避難場所である花小金井小学校への避難通路を高齢者や障害者に優しいものにする今後の対応は。(答弁)デリバリーこいだいら等の機会を捉え、避難場所の周知、自主防災組織の結成など、地域で助け合う支援対策を構築する。(西武線跨線橋対策は3面を参照)

## 大塚 彩乃市議



1、マイナンバー制度の実施状況について

市民にとってのメリットが全く理解できないのに国の法律を法定受託事務として実施しなければならぬマイナンバー制度。1月からの実施に向けての準備状況など質問。11月20日現在、市内で1683通が不在票を入れても受けとりに来ないこと、本人確認はマイナンバーカードがなく

ても従来通り障害者手帳や免許証で可能ということが明らかに。併せて、視覚障がい者への説明などについていねいにせよと求めました。

2、要支援の方への介護を低下させてはならない

3月より、要支援1・2が介護保険から「介護予防・日常生活支援事業」に移行。準備状況など質問しました。まずは事業所によるサービスから移行する。これまで以上に本人・家族とケアマネージャーとの話し合いが重要になっています。

3、約30年ぶりの保育料改定の影響について

上がった層も下がった層もあり、中間層に配慮したこと、結果年間約600万円の増収(負担増)に。保育園のトイレの改修や暗い駐車場の改善など、保育への直接還元を要望。又、多子減免について上の子が小学生までの検討と認可外保育園に通う保護者への補助金について実態に即した改善を求めました。その他、玉川上水に架かるくぬぎ橋、寺橋、いこい橋などの交通安全について